

# 介護部会相模原ブロック会議報告書

実施日 平成 30 年 10 月 11 日(木) 14:00~16:00

会議実施会場 介護老人保健施設 とき

参加人数 8 施設 11 名参加

議事項目 ①『オムツのコスト削減』について  
\*施設で工夫している事  
②フリートーク・伝達事項  
③施設見学

内容

1.議題 オムツのコスト削減について

A施設 オムツのコスト削減について、今まで取組みがなされていなかった。施設の修繕費が年々かかるようになり削減できる事がないかと考え、今年から業務改善委員会でオムツのコスト削減に取り組んでいる。取組み内容は①利用者個々の使用パット・オムツの統一②パット・オムツの単価を提示し、職員にコストを意識してもらい③毎月、パット・オムツの使用状況を評価④定期的にオムツメーカーに出席してもらい、委員会でアドバイスをしてもらう

\*問題点として、日中のパット・オムツについては統一した使用が出来ているが、夜間は各階 1 人夜勤の為、個々の使用状況が異なり統一が出来ていない。

B施設 夜間、看護師がオムツ交換に入り対応する事がある為、利用者個々のスケジュールにパット等を記入し統一。オムツメーカーの勉強会を年 2 回実施。夜間の交換回数は 2~3 回。日中は、決められたパット・オムツを使用出来ている。夜間は、決められたパット・オムツを使用する職員もいれば、そうでない職員もいる。

C施設 オムツ交換の回数を 8 月頃から 5 回から 3~4 回に変更。業務負担は軽減されたが、失禁が増えた。また、皮膚状態の悪化や不快感が増えるのではないかと言う心配がある。日中リハパン/夜間オムツ対応であったが、昼夜リハパン対応に変更になった利用者が 10 名いる。パットは、6 種類から 8 種類に変更。

D施設 パットはメーカー直ではなく、卸から購入している。パットの種類は 2~3 種類(吸収量 200cc・500cc・1000cc)パットの単価が非常に安価な為、特に節約はしていない。

E施設 パットは、4 種類。月 1 回会議を行っているも、汚さない・漏れないようにと言う方向の話になってしまう。コスト削減に結びつかない。

F施設 派遣職員が多く、人件費のコストが増。パットは 3 種類、オムツカバー 2 種類、リハパン 1 種類。夜間のオムツ交換回数は 2 回(入床時と 3 時から 4 時の間)。

G施設 前年比よりコスト増のフロアは対策を練る。

H施設 個別排泄ケアを行っている。排泄パターンが個々に違う為、排泄表を工夫している（時間・使用する物を色分け）。個別排泄ケアの為、パットやオムツの種類が多い。

2.フリートーク 各施設の人員について意見交換。

3.伝達事項 ・次年度の部会費の使い道について意見交換。

・次回、相模原ブロック会議予定 相模原ロイヤルケアセンター（12月）